

科目名	アドバンスレッスン1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科ヴォーカリストコース 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	尾崎 久美子/横山 愛実/大山 桂祐/MALIYA/大森裕斗/三上 かおる/Haruna/鳥居 隼/渡部 紗矢/田中 綾美/鈴木 一義			教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン他		

【科目の目的】

プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【科目の概要】

この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル1」「ボーカルアンサンブル2」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の8つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン2」も同様である。※楽器レッスンは「Dance」「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。

【到達目標】

- A. 様々なボーカルテクニックを習得できる
- B. 発声の共鳴について理解できる
- C. ステージ上でのコミュニケーションを意識できる
- D. アカペラグループで歌唱ができる
- E. 発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。  
 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。  
 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。  
 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	様々なボーカルテクニックを習得でき、実際に活用できる		様々なボーカルテクニックを習得できる		様々なボーカルテクニックを習得できない
到達目標 B	発声の共鳴について理解でき、簡潔に説明できる		発声の共鳴について理解できる		発声の共鳴について理解できない
到達目標 C	ステージ上でのコミュニケーションを意識でき、リーダーシップを発揮できる		ステージ上でのコミュニケーションを意識できる		ステージ上でのコミュニケーションを意識できない
到達目標 D	アカペラグループで歌唱ができ、パートを変えても対応できる		アカペラグループで歌唱ができる		アカペラグループで歌唱ができない

到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる		発表会でベストパフォーマンスできない
-----------	-----------------------------	--	-------------------	--	--------------------

【教科書】

【参考資料】  
 毎回授業にて資料配布を行う  
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】  
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価  
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価  
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講師からの講評	自分の課題を発見できる		
2	ボーカルレッスン1①	歌詞を意識した歌唱表現について学ぶ	1	歌詞の熟読	歌詞の内容を理解し、自分なりの見解が持てる		
			2	表情と仕草	表情や仕草を使った歌唱表現ができる		
			3	抑揚	抑揚の変化をつけた歌唱表現ができる		
3	ボーカルレッスン1②	ボーカルテクニックを学ぶ①	1	ビブラート/トレモロ	ビブラート、トレモロを使った表現ができる		
			2	スタッカート/テヌート	スタッカート、テヌートを使った表現ができる		
			3	エッジボイス	エッジボイスを使った表現ができる		
4	ボーカルレッスン1③	ボーカルテクニックを学ぶ②	1	しゃくり	しゃくりを使った表現ができる		
			2	フォール	フォールを使った表現ができる		
			3	こぶし	こぶしを使った表現ができる		
5	ボイストレーニング①	共鳴について学ぶ	1	喉頭腔	喉頭腔を利用した共鳴ができる		
			2	咽頭腔	咽頭腔を利用した共鳴ができる		
			3	口腔	口腔を利用した共鳴ができる		
6	ボイストレーニング②	声に関わる病気の種類と対策を学ぶ	1	代表的な病気と症状	ボーカリストがなりやすい病気について理解できる		
			2	原因とメカニズム	病気の原因とメカニズムについて理解できる		
			3	日常的なボイスケア	日常的にできるボイスケアについて理解できる		
7	ボイストレーニング③	アーティスト分析	1	邦楽	邦楽アーティストの作品や歌唱を分析できる		
			2	洋楽	洋楽アーティストの作品や歌唱を分析できる		
			3	ジャンル研究	様々なジャンルの作品や歌唱を分析できる		

8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1	発声練習	発声練習によるウォームアップができる		
			2	課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる		
			3	講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる		
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1	リーダーシップ	バンドを引っ張るリーダーシップの意識を持てる		
			2	コミュニケーション	ステージ上でのコミュニケーションを理解できる		
			3	コーラス	メインとコーラスのニュアンスを揃えられる		
10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
11	コーラス1①	実践的なバックコーラスの意識について学ぶ	1	声質のトレース	メインボーカルの声質をトレースできる		
			2	ニュアンス	ニュアンスを揃えることができる		
			3	ステップ等	バックコーラスとしてのパフォーマンスができる		
12	コーラス1②	アカペラグループの歌唱について学ぶ	1	チーム編成	アカペラグループの各パートを理解できる		
			2	ボイスパーカッション	ボイスパーカッションができる		
			3	ベース	ベースパートができる		
13	コーラス1③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる		
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							